施工説明書番号 ME-2082
改-1

新日軽 ファインポートⅡZミニ 施工説明書

この度は、当社商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この施工説明書をよくお読みの上、作業を行なってください。

◎組立・施工の前に

- 本施工説明書に示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全を確保する上で重要な内容です。施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行なってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- この施工説明書および同梱されている「取扱説明書」は施工後必ず施主様へお渡しください。
- ガス給湯器などの排気熱が、製品に直接当たらないように事前に確認してください。 排気による塗装劣化・剥離のおそれがあります。（もし当たる場合は、給湯器メーカーの排気ダクト設置をお勧めします。）

○注意（設置場所・設置位置について）

- この商品は積雪地域用です。【積雪強度1500N/㎡（153 kg/㎡）・耐風圧強度：42m/s】（風力係数1.0当社計算による）
- 多雪地域での設置はできません。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。落雪により商品が破損するおそれがあります。
- サイドパネルや建物の壁などにより柱側に風が通らなくなる場所に設置する場合には、必ず補助柱を取付けてください。
- 基礎は弊社指定寸法以上にしてください。
- 地下埋設物（給排水管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 柱移動は弊社指定範囲内にしてください。

○施工時の注意事項

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物、珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学薬品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触する部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や柱の凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液はアルカリ性で、シミやムラ等の外観不良や腐食の原因になりますので工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重いものをのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

― 目 次 ―

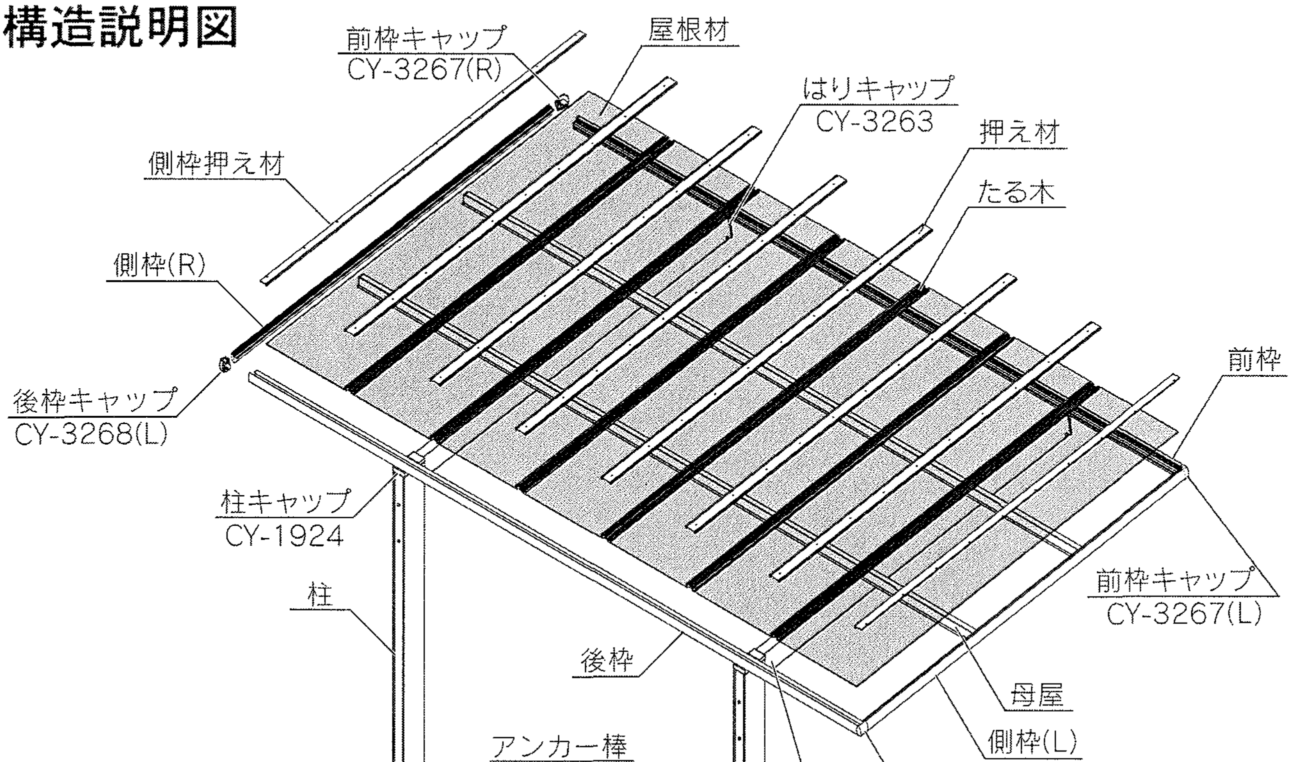
組立・施工の前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
注意（設置場所・設置位置について） ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
施工時の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
梱包明細・構造説明図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
梱包明細・基礎寸法表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
納まり図 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
基礎の施工・はりの取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
前後枠・母屋の取付け、側枠・たる木の取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
コンクリートの打ち込み ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
屋根材および押え材の取付 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
雨樋の組立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
連結部の組立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
車輪止めバー組立 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
車輪止めバーの取付け ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
母屋固定金具（オプション品）を取付ける場合 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
施工完了時の注意事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

梱包明細

部材セット明細			
梱包名称	部材・部品名称		数量
標準柱	柱		2(2本入り)、1(1本入り)
長柱			1(1本入り)
はり	はり		2(2本入り)、1(1本入り)
側枠・たる木	側枠	RL各1	
	側枠押え材	2	
	たる木	2(間口22用)、3(間口29用)、4(間口36用)、5(間口43用)、6(間口50用)、7(間口57用)	
	押え材	2(間口22用)、3(間口29用)、4(間口36用)、5(間口43用)、6(間口50用)、7(間口57用)	
連棟たる木	連棟たる木	3(間口22用)、4(間口29用)、5(間口36用)、6(間口43用)、7(間口50用)、8(間口57用)	
	押え材	3(間口22用)、4(間口29用)、5(間口36用)、6(間口43用)、7(間口50用)、8(間口57用)	
前後枠セット	前・後枠		各1
	母屋		2
柱・はりジョイナー			2(2本入り)、1(1本入り)
屋根材	ポリカーボネート板・熱線遮断ポリカーボネート板・クリアマットポリカーボネート板		3枚入り、4枚入り
	アルミ樹脂複合板		2枚入り、3枚入り
たて樋	たて樋		1

ファインポートⅡZミニ 標準部品箱明細					
組立手順	部品名称		部品記号	数量	
				間口22~36用	間口43~57用
基礎の施工	アンカー棒		NAN-2	2	3
	注意表示ラベル(50cm)		ML-1065	2	3
はりの取付け	M8×20六角 セムスボルト		BN-1292-01	14	21
	柱キャップ		CY-1924	2	3
	はりキャップ		CY-3263	2	3
前後枠・母屋・側枠・たる木の取付け	前後枠ピース		LB-1353	4	6
	孔ふさぎシール		NM-73	16	24
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	52	76
	前枠キャップ		CY-3267	RL各1	RL各1
	後枠キャップ		CY-3268	RL各1	RL各1
	コーキング剤		NBC-256	1	1
屋根材及び押え材の取付け	φ4×10トラス(タッピン 2種)		2TA4×10S	64	94
雨樋の組立て	雨樋部品セット(ETC-4101)	落し口	ETC-2646	1	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1
		エルボー	ETC-2435	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1
		φ4×12トラス(タッピン3種)	3TB4×12S	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1

構造説明図



梱包明細

ファインポートⅡZミニ連棟部品箱明細					
組立手順	部品名称		部品記号	数量	
				間口22～36用	間口43～57用
基礎の施工	アンカー棒		NAN-2	2	3
	注意表示ラベル(50cm)		ML-1065	2	3
はりの取付け	M8×20六角 セムスボルト		BN-1292-01	14	21
	柱キャップ		CY-1924	2	3
	はりキャップ		CY-3263	2	3
前後枠・母屋・側枠・たる木の取付け	前後枠ピース		LB-1353	4	6
	孔ふさぎシール		NM-73	16	24
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	48	72
	コーキング材		NBC-256	1	1
屋根材及び押え材の取付け	φ4×10トラス（タッピン 2種）		2TA4×10S	54	84
連棟用	前枠連結ブラケット		AB-1364	1	1
	後枠連結ブラケット		AB-1365	1	1
	母屋連結ブラケット		UB-1018	2	2
	前枠連棟カバー		CY-3294	1	1
	後枠連棟カバー		CY-3295	1	1
	止水パッキン		BU-1362	2	2
	φ4×10トラス(タッピン3種)		3TA4×10S	9	9
	Φ4×13セルフドリリングビス		DDAP4×13W	8	8
雨樋の組立て	雨樋部品セット (ETC-4101)	落し口	ETC-2646	1	1
		落し口パッキン	ETC-2669	2	2
		ドレンエルボ	ETC-4077	1	1
		エルボー	ETC-2435	2	2
		固定バンドA	ETC-2436	3	3
		固定バンドB	ETC-2437	3	3
		水抜き孔フサギ	ETC-2649	1	1
		φ4×12トラス（タッピン3種）	3TB4×12S	4	4
		φ4×19セルフドリリングビス	DDAP4×19W	3	3
		接着剤	BC-2659	1	1

基礎寸法表

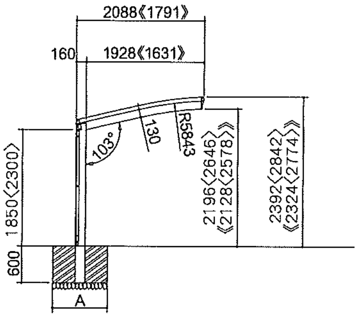
単位(mm)

形式	サイズ	納まり	基礎寸法(A×B)
片流れ	奥行18,21×3スパン 奥行18,21×4スパン 奥行18,21×5スパン 奥行18,21×6スパン 奥行18,21×7スパン 奥行18,21×8スパン	単体 たて連棟 サイドパネル付き	750×750

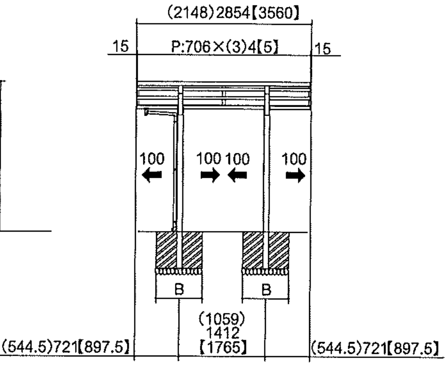
納まり図

■ 単体・連棟タイプ　[基礎寸法A,Bは、3ページの『基礎寸法表』を参照してください。

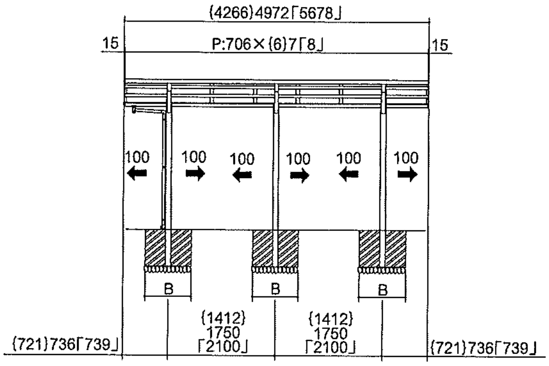
・本図は4スパン、7スパン奥行21タイプを示し、奥行18タイプは《 》内に示す。
3スパンは( )内、5スパンは【 】内、6スパンは{ }内、8スパンは「 」内に示す。
・本図は標準柱タイプを示し、長柱は〈 〉内に示す。
・➡は柱移動範囲を表します。



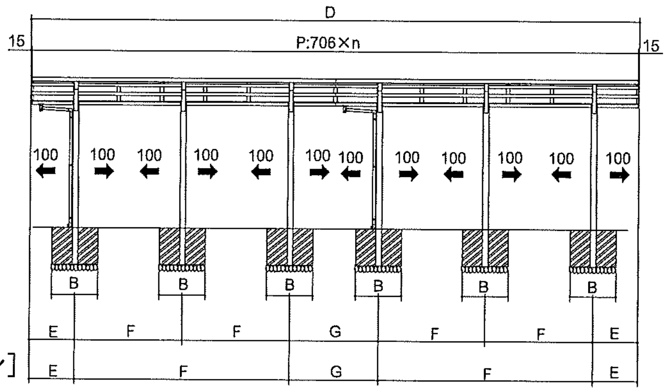
[3,4,5スパン]



[6,7,8スパン]



[縦連棟7スパン＋7スパン]



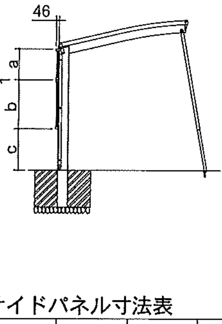
[5スパン＋5スパン]

連棟寸法表

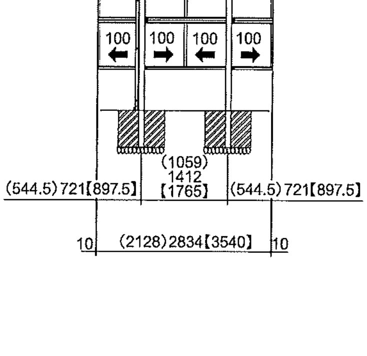
連棟数	5+5	6+6	7+7	8+8	6+6+6	7+7+7	8+8+8	7+7+7+7	8+8+8+8
nスパン	10	12	14	16	18	21	24	28	32
D	7090	8502	9914	11326	12738	14856	16974	19798	22622
E	897.5	721	736	739	721	736	739	736	739
F	1765	1412	1750	2100	1412	1750	2100	1750	2100
G	1765	1412	1442	1448	1412	1442	1448	1442	1448

■ サイドパネル2段付き

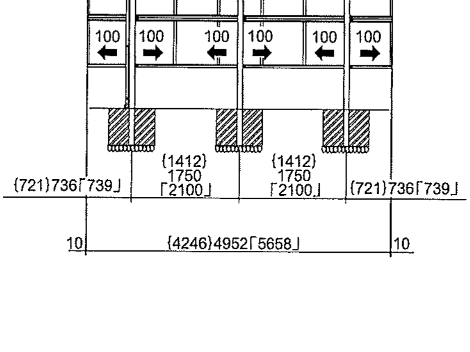
・本図は4スパン、7スパンを示す。3スパンは( )内、5スパンは【 】内、
6スパンは{ }内、8スパンは「 」内に示す。
・サイドパネル2段、3段取付の際は、必ず補助柱を取付けてください。
・➡は柱移動範囲を表します。



[3,4,5スパン]



[6,7,8スパン]

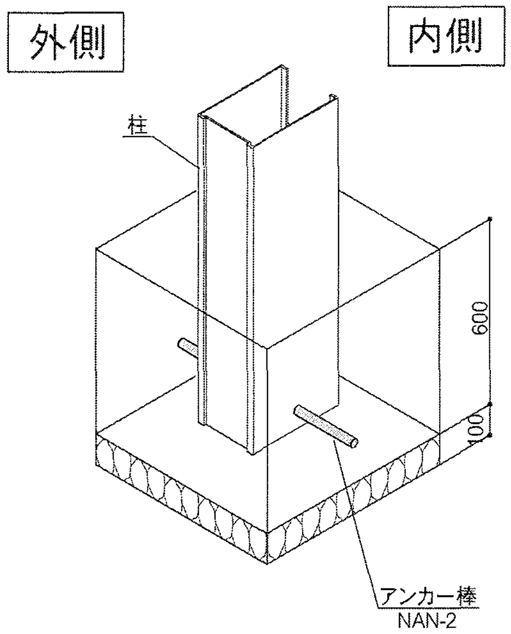


サイドパネル寸法表

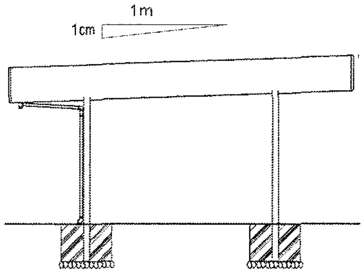
呼称	a寸法	b寸法	c寸法	
			標準柱	長柱
H:1300	500	800	621	1071
H:1600	800	800	321	771

1 基礎の施工

①柱埋込み位置を出し、指定寸法以上の穴を掘ってください。
柱の位置・基礎寸法は納まり図を参照してください。
②柱にアンカー棒を差し込んでください。



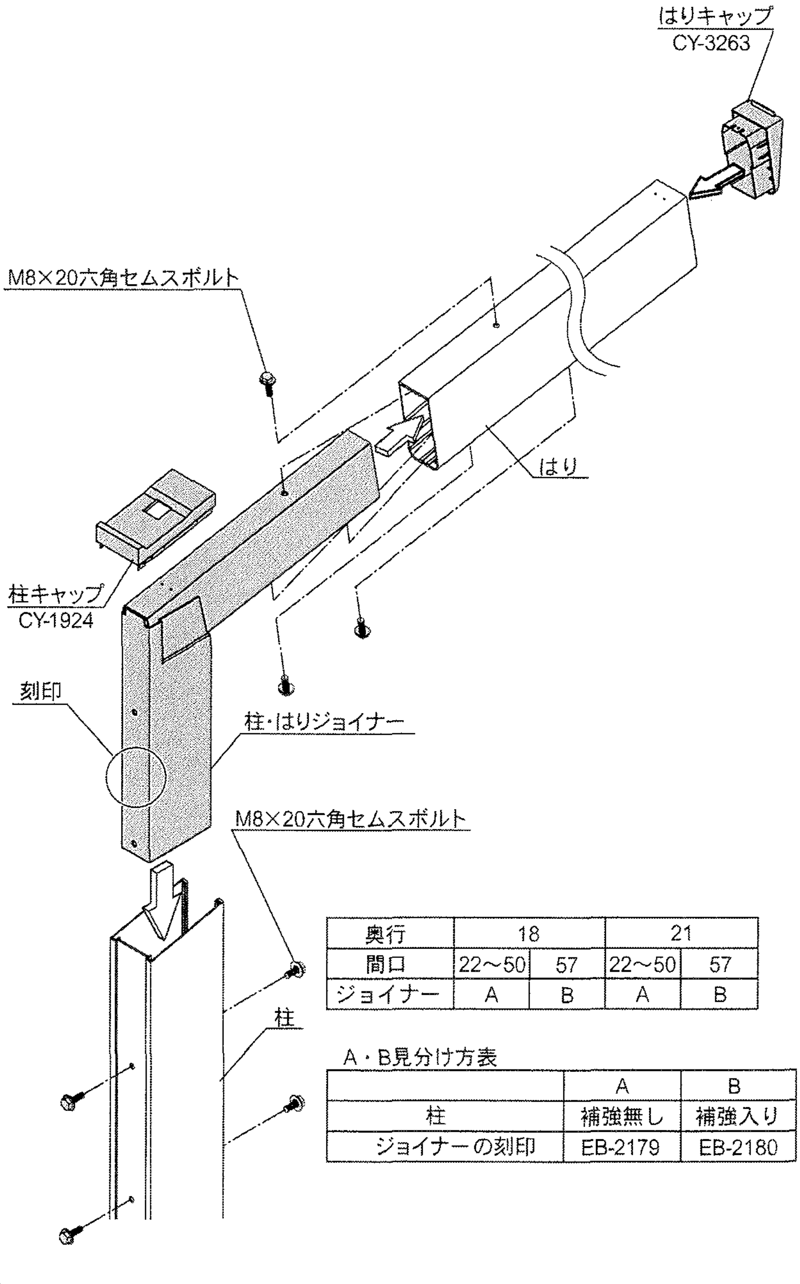
ポイント
- 屋根に水勾配をつけて施工してください。
- コンクリートの施工は骨組み完了後に行なってください。



注意表示ラベルの貼り替え
ファインポートⅡZミニの積雪強度は1500N/m²(積雪50cm相当)になります。柱に貼られている積雪20cm仕様の注意表示ラベルを剥がし、積雪50cm仕様の注意表示ラベル(ML-1065)に貼り替えてください。

2 はりの取付け

①はりに、はりキャップを取付けてください。
②柱・はりジョイナーをはり,柱に差し込み、セムスボルトで固定してください。
③柱キャップを取付けてください。



奥行	18		21	
間口	22～50	57	22～50	57
ジョイナー	A	B	A	B

A・B見分け方表

	A	B
柱	補強無し	補強入り
ジョイナーの刻印	EB-2179	EB-2180

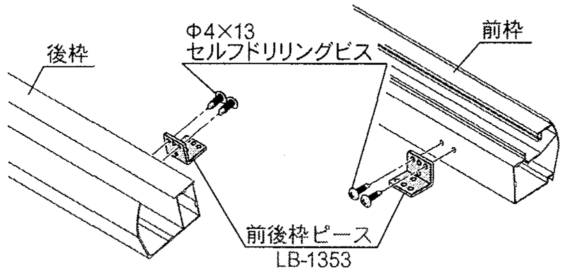
ボルト締め付けの際はインパクトドライバーの使用はお避けください。強い力や振動でボルトが焼き付き、固着してしまうことがあります。

工事終了後には再度ボルトの増し締めを行い、確実に締め付けてください。

柱、ジョイナーの組合せを表(右記)で確認し、正しく施工してください。(連棟時)

3 前後枠･母屋の取付け

①前後枠に前後枠ピースを取り付けてください。

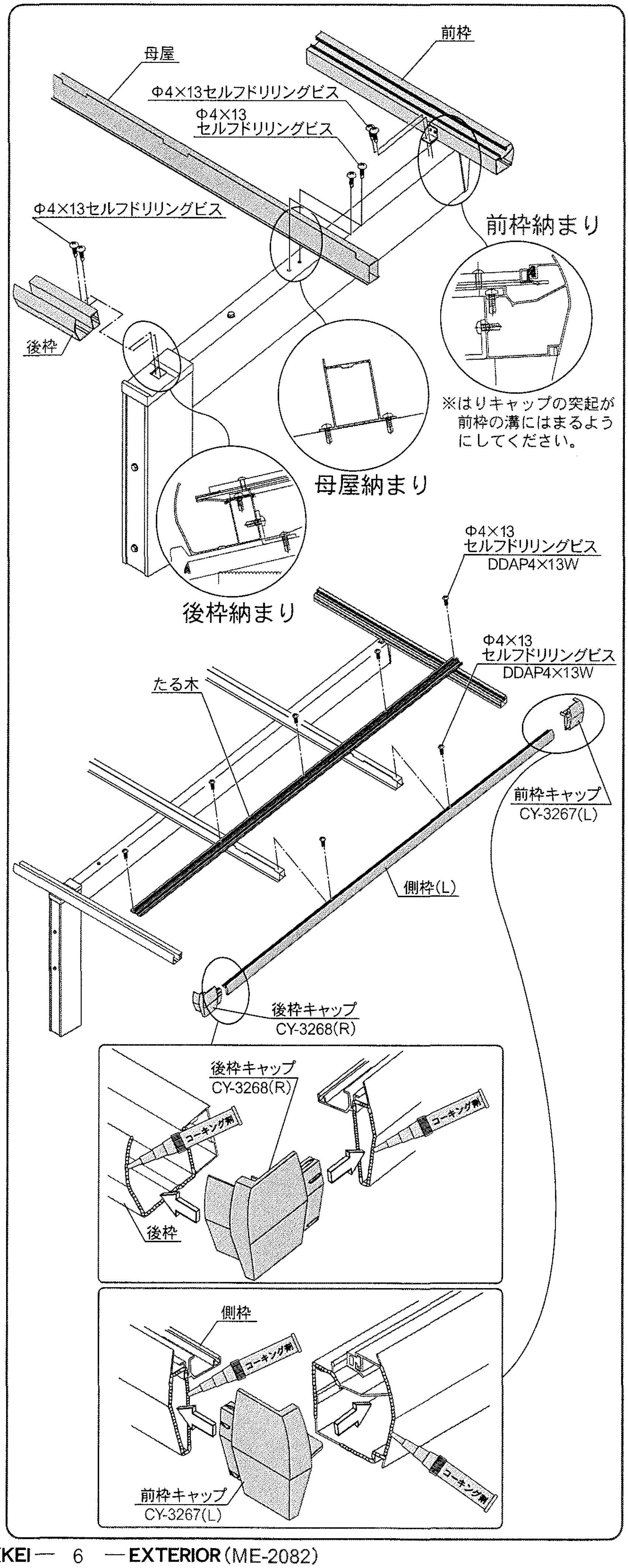


②前枠を､はりキャップの突起にひっかけ、後枠を柱キャップにのせて、柱及びはりに前後枠ピースをビス止めしてください。
③母屋をはりにビス止めしてください。

> **ポイント**
>
> ●母屋には向きがあります。右図を参考に取付けてください。

> **ポイント**
>
> 柱移動する場合は母屋、前後枠に孔加工が必要になります。使用しなくなった孔には孔ふさぎシールを貼付けてください。

> **!**
>
> オプションとして母屋固定金具を取付ける場合は､11ページを参照してください。



4 側枠･たる木の取付け

①たる木を前後枠の取付孔部と母屋の切り欠き部を合わせビス止めしてください。後枠は後枠ピースがスライドしますので後枠ピースの位置を調整し後枠のたる木取付孔にビス止めしてください。
②側枠､前枠､後枠の両端切口にコーキングを施し側枠にキャップを差し込み取付けてください。

> **ポイント**
>
> ●前枠キャップ、後枠キャップには左右があります。

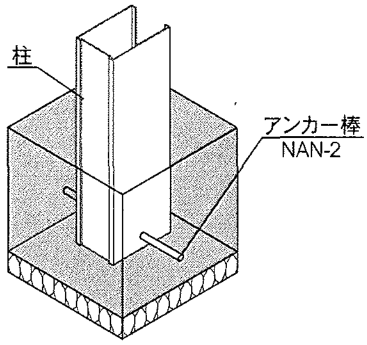
③側枠を前後枠・母屋に取付けてください。

> **ポイント**
>
> ●ファインポートⅡＺミニの側枠には左右があります。
> 銘板シール付きを右(前枠側から見て)に取付けてください。

> **ポイント**
>
> ●たる木取付けビスはφ4×13セルフドリリングビスを使用しています。
> 電動ドライバーをご使用ください。

5 コンクリートの打ち込み

① 柱のアンカー棒を確認してください。
② 屋根の対角、柱の間隔･垂直･平行寸法が正しくでているか確認してください。
③コンクリートを流し込んでください。
④コンクリートが固まるまで養生してください。(4日～1週間程度)



6 屋根材および押え材の取付け

① 後枠の後枠ピースをたる木とたる木の真中に来るよう調整してください。
② 屋根材は先に後枠ピースに突き当たるまで差し込んでから、前枠に入れてください。

③ 前枠のビード部に押え材を押し当て、前枠側から後枠方向へビス止めしてください。

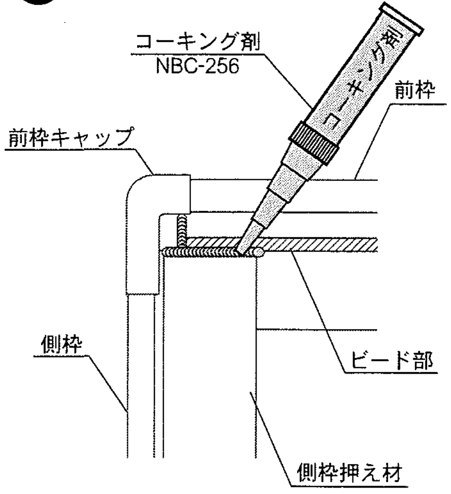
> 押え材の取付け時にインパクトドライバーは使用しないでください。

> 押え材取付け時に、ビスのから回りを防ぐために締め付けトルク15kgf･cm以下でビス止めしてください。

> ビスがから回りをした時は、ペンチで垂木の溝を狭くしてから止め直してください。

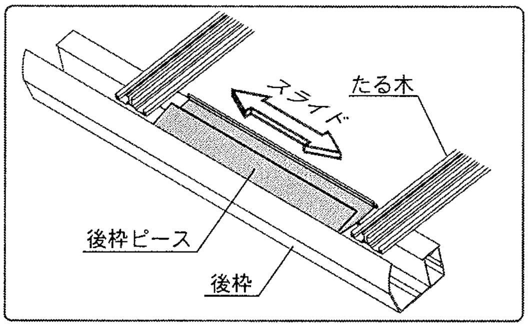
④ 押え材が前枠ビードに突き当たる部分と前枠とキャップの連結部にコーキングを施してください。

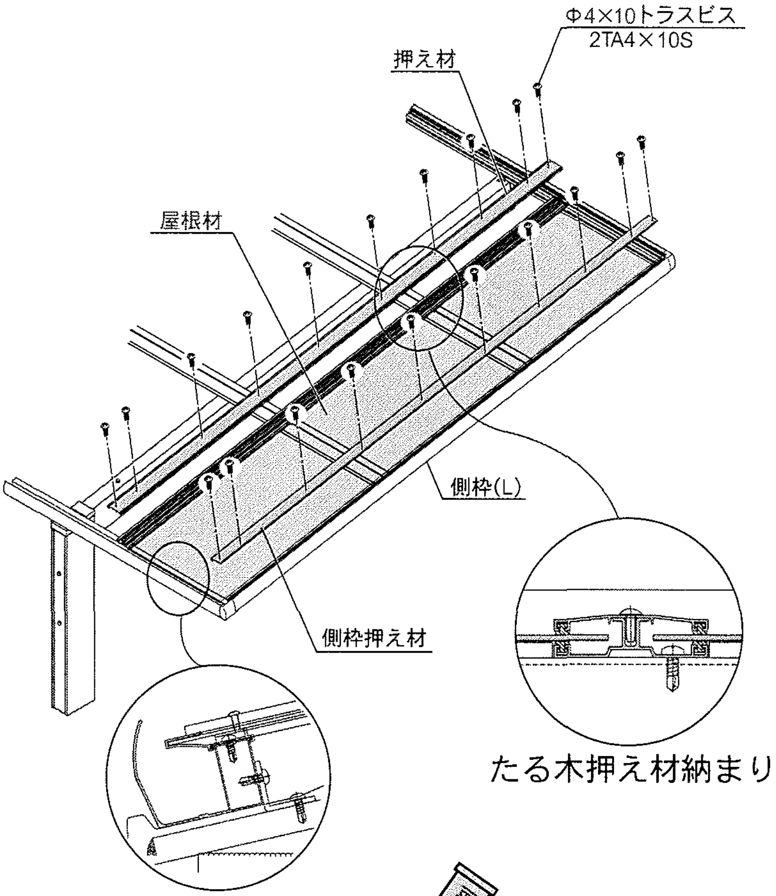
ポイント



お願い

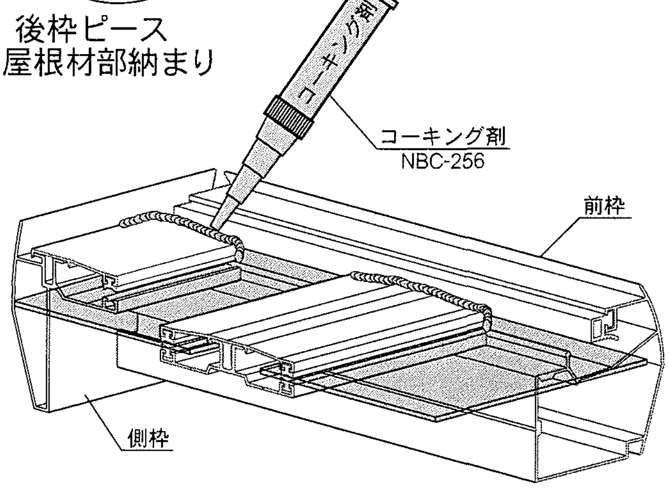
●コーキングは確実に行なってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。





たる木押え材納まり

後枠ピース
屋根材部納まり



7 雨樋の組立

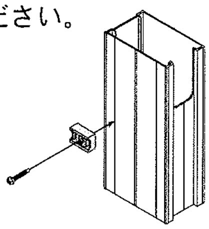
① たて樋の長さ(L1・L2)は現場に合わせて切断してください。(L1寸法は、下表を参照ください)
② 後枠の両端にある加工孔の片側(水勾配の下側)に落し口パッキン・落し口を取付けます。
③ 右図を参考に雨樋部品を仮組みしてから接着剤にて順次接着してください。
④ 柱3ケ所に固定バンドAをビス止めし、固定バンドBにてたて樋を固定してください。
⑤ 使用しない後枠水抜き加工孔には落し口パッキン・水抜き孔ふさぎを取付けてください。

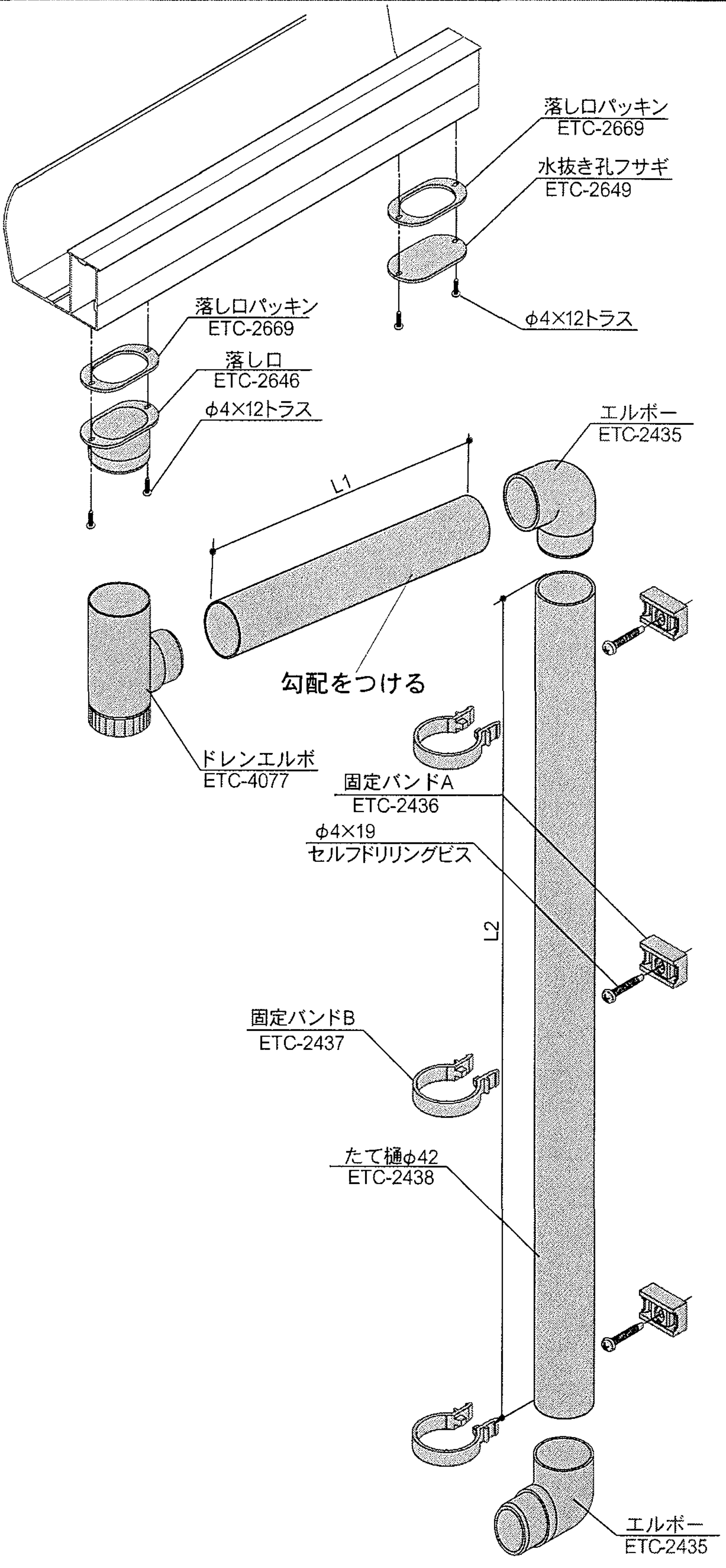
参考寸法

	柱標準位置でのL1	柱移動した時の切断範囲
L:22	258	158～358
L:29	432	332～532
L:36	609	509～709
L:43	427	327～527
L:50	452	352～552
L:57	455	355～555

ポイント

●横樋(L1部分)は勾配をつけてください。
●固定バンドは、下図のように柱の溝に φ4×19セルフドリリングビスで固定してください。



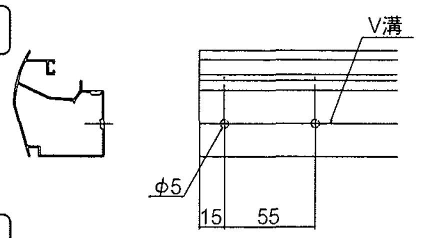


連棟納まりの場合

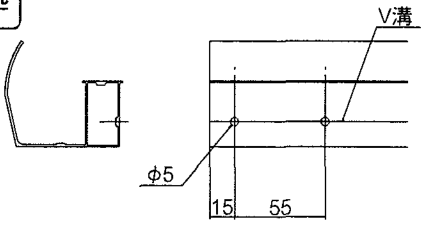
● 連結部の組立

① 本取付説明書5ページ基礎の組立てはりの取付けを参照し施工してください。
② 下図を参照し、前後枠・母屋の連結部に孔加工を施してください。

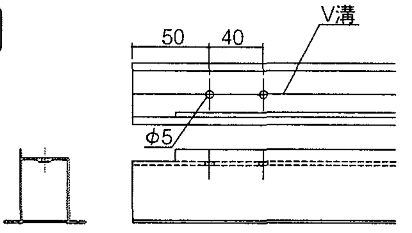
前　枠



後　枠



母　屋



③ 後枠を柱、前枠・母屋をはりに固定してください。

④ 図を参照して各部材を連結してください。

ポイント

● 前枠連結ブラケット及び後枠連結ブラケットには1箇所、下穴が空いています。下穴にて位置決めした後は、Φ4×13セルフドリリングビスで計4箇所ビス止めしてください。その際、中央部の2箇所は前枠連棟カバー及び後枠連棟カバーと共締めしてください。

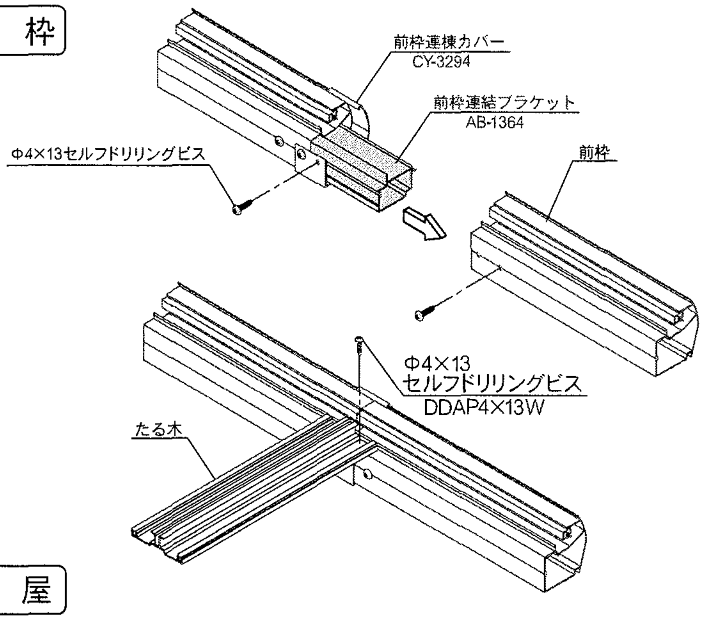
⑤ 後枠の連結部が中心になるように、止水パッキンを取付け、コーキングしてください。
また、前枠の連結部もコーキングしてください。

お願い

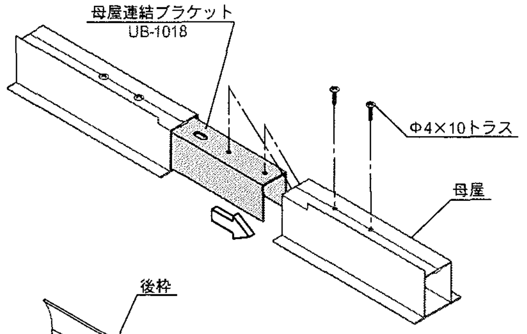
●コーキングは確実に行なってください。コーキングが不十分ですと、雨漏りの原因となります。

⑥ 本取付説明書の6～8ページを参照し、以後の施工を行ってください。

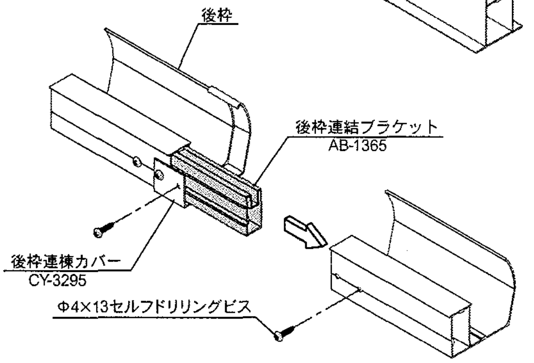
前　枠

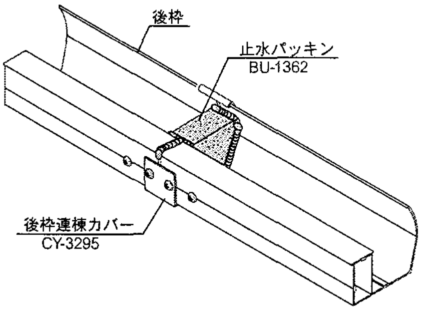


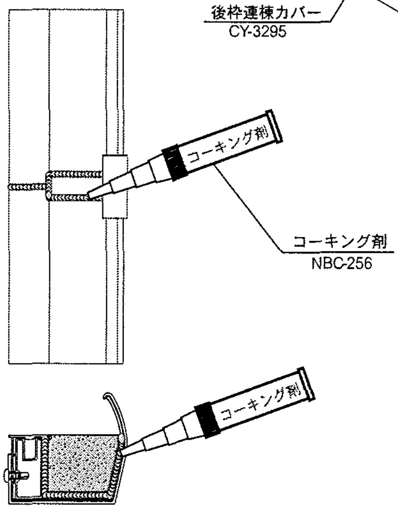
母　屋



後　枠







● 車輪止めバー組立

端部

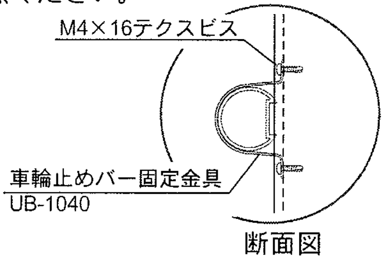
● 車輪止めバーと端柱をコーナー継手（φ4×10トラスビス）にて取付けてください。

連結部

● 車輪止めバーをスリーブ（M6×18ボルト）にて連結してください。

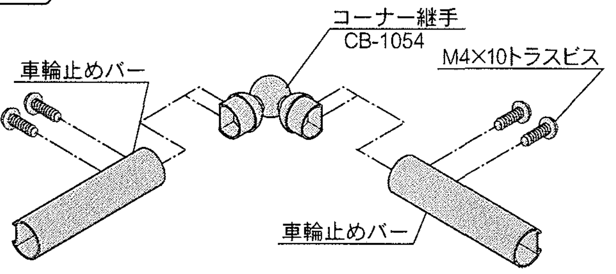
● 車輪止めバー取付け

● 車輪止めバーを本体柱に車輪止め固定金具にて（M4×16テクスビス）固定してください。
● 取付け、埋込み寸法については納まり図、寸法表を参照ください。

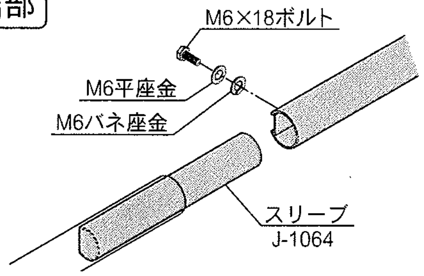


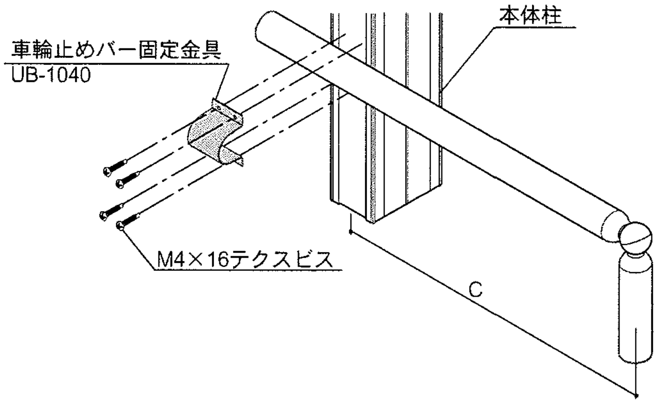
断面図

端部



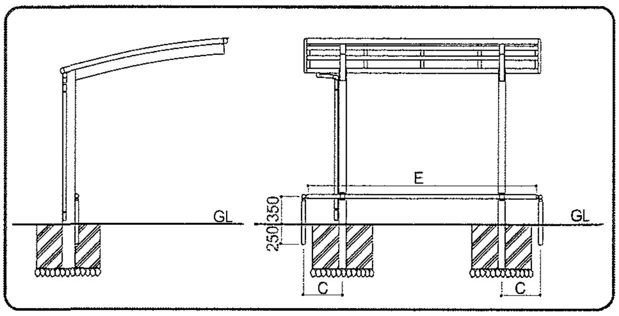
連結部

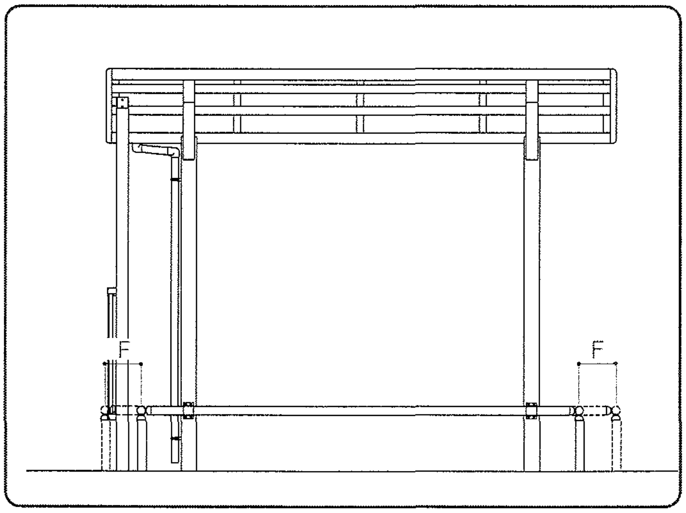




□ 車輪止めバー寸法表

車輪止めバースパン	3	4	5	3+3	3+4	4+4	5+5	4+4+4	4+5+5	4+4+4+4	4+4+5+5	3+4+4+5+5	4+5+5+5+5	4+4+5+5+5+5	3+4+5+5+5+5+5
総スパン	3スパン	4スパン	5スパン	6スパン	7スパン	8スパン	10スパン	12スパン	14スパン	16スパン	18スパン	21スパン	24スパン	28スパン	32スパン
C	599.5	781	962.5	1144	1161	1294	987.5	1174	1196	1334	1204	1231	1374	1266	1414
E	2148	2864	3580	4296	5012	5728	7160	8592	10024	11456	12888	15036	17184	20048	22912
F	135	140	145	150	155	160	170	180	190	200	210	225	240	260	280





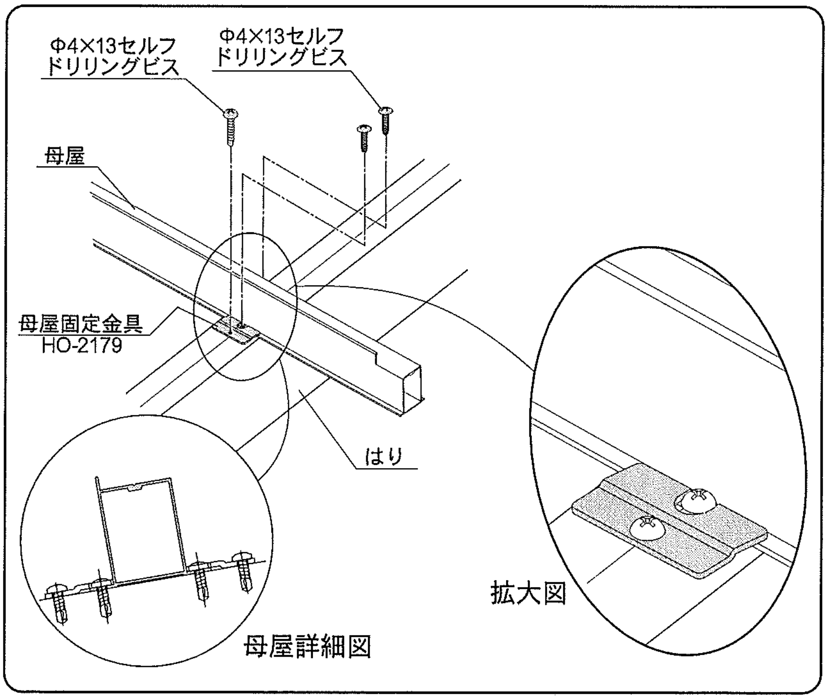
妻パネルと車輪止めバーを同時に取付ける場合は、車輪止めバーを片側、上記寸法表のF寸法づつ切断してください。

●母屋固定金具(オプション品)を取付ける場合

①母屋をはりにビス止めしてください。
②母屋固定金具を取り付けてください。

ポイント

● 母屋固定金具は、はり中央のノッチを目印に母屋詳細図のように取り付けてください。



○ 施工完了時の注意事項

● ボルト・ビス類が確実に締め付けられているか確認してください。
● 使用上危険な箇所等がないか点検してください。
●「取扱説明書」に基づき、商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
● この施工説明書は、施工終了後施主様にお渡ししてください。

■施工工事店様、販売店様へのお願い

●「取扱説明書」に基づき（同梱されているもののみ）商品の使用方法、保守点検方法およびメンテナンス方法を必ず施主様に説明してください。
●この施工説明書は、施工完了後施主様にお渡しください。

施工完了日	年　　月　　日
施工工事店	TEL（　　　）　-
販売店	TEL（　　　）　-

株式会社LIXIL

この商品についてのご質問やご相談は
下記の窓口にお問い合せください。

お客様相談室
0120-37-2534

新日軽インターネットホームページ
http://www.shinnikkei.co.jp